

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2017年12月18日

2018年の経営見通し

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 俵山初雄、以下しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「2018年の経営見通し」をまとめましたのでご案内します。

1. 調査概要

- 調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 546 社
調査方法 調査表による面接聴取法
調査時期 2017年12月1～7日
回収状況 調査数 546 社 回収数 543 社（有効回答率 99.5%）

2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

①2018年の日本の景気 「良い」と「悪い」がほぼ拮抗 「良い」の割合は過去10年間で最高

2018年の日本の景気をどのように見通しているかをたずねたところ、「良い」と回答した企業は26.8%となった。「悪い」の27.7%を若干下回ったが、「良い」の回答割合は過去10年間で最高となった。昨年調査（2016年の見通し）と比較すると、「良い」が17.9%増加し、「悪い」が23.0%減少した。

②自社の業況 12年振りに「良い」が「悪い」を上回る

2018年の自社の業況については、「良い」=24.2%、「普通」=52.0%、「悪い」=23.6%となり、「良い」が「悪い」を0.6%上回った。「良い」が「悪い」を上回るのは2006年見通し（2005年調査）以来12年振り。

業種別に「良い」の回答割合をみると、二輪車部品製造が32.0%で最も高く、次いで楽器製造の31.6%、自動車部品製造の29.2%の順に高かった。

③約4割の企業が売上増加を見込む

自社の売上見通しを2017年と比較すると、「増加する」が「減少する」を2.11%上回った。

業種別にみると、業種別にみると、「小売」は「減少する」が「増加する」を上回ったが、残りの業種は「増加する」が「減少する」を上回った。

④景気回復を実感するには「企業収益の改善」「賃金の上昇」が必要

どのような状況になれば、世の中が景気回復をより実感できるようになると思うかをたずねたところ、製造業・非製造業とも「企業収益の改善」が最も高く、次いで「賃金の上昇」が高かった。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館5階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵

TEL 053-452-1510

mabuchi@shinkinkeizai.jp